

子ども・保護者に伝えていきますか

携帯電話のもたらす危険性

ネットで知り合った相手と実際に会い、暴行、児童買春等の事件に巻き込まれるケース、掲示板での書き込みが陰湿ないじめに発展するケース、・・・携帯電話をめぐる様々なトラブルが起っています。小中学生の所有率が高まるなか、その危険性について、学校・保護者がしっかりと認識し子どもたちに伝えていく必要があります。

- 携帯電話の所持
小学生(4~6年)16% 中学生38.4%
 - フィルタリングの設定
小学生74.4% 中学生68.7%
 - 家庭でのルールを決めていないと回答した児童生徒
小学校36.8% 中学生29.7%
- (H23 岡山県教育委員会調査)

携帯電話を
持たさない

通話とショート
メール機能のみ

フィルタリング
設定

フィルタリング
なし

危険

情報モラル教育の徹底を！

被害者にも加害者にもなる可能性

- ・不用意な書き込みがもたらす危険
(ネットいじめ・個人情報の流失等)
- ・性犯罪等に巻き込まれかねない出会い系サイト利用の危険
- ・ゲームサイトの過剰利用 等

保護者への啓発を！

保護者研修会・学校だより等での周知
(電話会社による携帯電話教室等の利用も)

- ・親子で危険性の共通認識
- ・購入時のフィルタリング設定の徹底
- ・家庭での使用のルールの呼びかけ
(利用時間、利用場所、料金の上限等)